

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	
使用教科書	数研出版『新編 言語文化』			使用副教材等	尚文出版『常用漢字 ダブルクリア』				

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、以下の育成を目指す。①社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。②論理的に考える力や共感したり想像したりする力を深め、他者との関わりの中で自分の考えを伝え合う力を高める。③我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
評価方法	・定期考査(各学期2回)[60%] ・授業での成果物(言語活動等)[40%]	・定期考査(各学期2回)[60%] ・授業での成果物(言語活動・調べたり考えたりしたことまとめ等)[40%]	・振り返りシート[60%] ・ノート等の取り組み(意味調べやテスト勉強等)[40%]

担当者からのメッセージ	この科目は、近現代文・古文・漢文の様々な作品に触れ、我が国の言語文化について考えていきます。「読むこと」「書くこと」の活動を通して、作品に表れているものの感じ方や考え方を知り、いつの時代においても、言葉が時代や文化を継承し、創造を支えていることを学んでいきます。生涯にわたって読書に親しみ、広く深い視点でものごとを考え、言葉で伝える能力や感性を育成していきましょう。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 ・ 5	り言葉や表現について、古典と現代とのつながりを知る。 ◎言語文化と近現代 ◎地域の「ことば」 ・『とんかつ』(三浦哲郎)	【知識・技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、考え方を捉え、内容を解釈することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に表現の工夫や文脈から登場人物の心情を探り、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。
		◎言語文化と古文 ◎古文に親しもう ◎古文の世界を親しむ ・『宇治拾遺物語』児のそら寝	【知識・技能】時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」を通して、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に登場人物の様子や心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。
		◎言語文化と漢文 ◎日本語の中に生きる漢文 ・訓読のきまり ・格言	【知識・技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」を通して、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】漢文の訓読に対し、粘り強く取り組み、理解を深めようとしている。
	6 ・ 7	文化と古文とのつながりを知る。 ◎先人を思う旅 ・『おくのほそ道』平泉	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」を通して、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】本文中の句を通して人物の心情を粘り強く理解し、学習課題に沿って自分の意見を積極的に論じようとしている。
		◎漢詩を味わう ・中国の漢詩	【知識・技能】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」を通して、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】漢詩に描かれた状況や心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿って現代の詩に書き直そうとしている。

2	9 ・ 1 0	を較異 知るる 。表時 現代の 工夫立 やした 作者の 作品を 意図比	◎受け継がれる古典 ・『羅生門』 ・[探究の扉]今昔物語	【知識・技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】異なる時代に成立した作品の差異を粘り強く見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。
	1 1 ・ 1 2	察内容 するの 。理解 を深め 、主題 を考	◎現代に生きる教え ・『徒然草』高名の木登り	【知識・技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで本文と自分とを引きつけて捉え、本文の教訓が当てはまる体験について話し合いに参加しようとしている。
3	1 ・ 2	も日本 のの詩 歌を見 方や感 じ方を 捉え、 作品に 表れて いる	◎詩歌を味わう ・短歌 ・俳句 ◎和歌が作り出す世界 ・万葉集 ・古今和歌集 ・新古今和歌集	【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考・判断・表現】「書くこと」を通して、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで詩歌を味わい、学習課題に沿って鑑賞文や詩歌の創作をしようとしている。
			◎昔と変わらない人の心 ・『伊勢物語』茶川	【知識・技能】古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」を通して、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿って現代語の短歌に書き直そうとしている。